

平成30年度 横浜市
「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト
表彰式・事例発表会 次第

日時：平成31年2月26日(火) 14:50～
会場：神奈川県立青少年センター ホール

次 第

1 表彰式

- (1) 表彰
表彰状授与（8事業所）
認証証授与（5事業所）
- (2) あいさつ
横浜市健康福祉局長 田中 博章
- (3) 記念撮影

2 事例発表会

- (1) デイサービス絆home横浜青葉
株式会社ネクストバリュー 代表取締役 石川 和秀氏
- (2) リカバリータイムズ
株式会社リカバリータイムズ 代表取締役 石田 輝樹氏
- (3) 生活維持向上倶楽部「扉」
株式会社NGU 代表取締役 山出 貴宏氏

配布資料

- ① 平成30年度認証事業所一覧 (資料1)
- ② 本プロジェクト パンフレット (資料2)
- ③ 平成30年度表彰事業所 事例集 (資料3)

※認証事業所（13 事業所）のうち、No. 1～8 は表彰事業所です。

※「認証事業所」は、高齢者の生活の質の向上に資するような効果的な機能訓練プログラム等を実施している事業所で、「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクトに参加した事業所の中から、今後も高齢者の自立支援に取り組む意欲があると認められる事業所です。

※本プロジェクト参加事業所について、書類審査（31 項目）及び実地確認を行い、次のとおり認証事業所（13 事業所）を決定しました。

※認証事業所のうち、書類審査において高得点であり、効果的な自立支援を実践している事業所について 表彰します。

※一覧表中、☆印の事業所に事例発表をしていただきます。

No.	事業所名	法人名	所在区
1 《表彰》 ☆	リカバリータイムズ	株式会社リカバリータイムズ	鶴見区
	理学療法士等の専門職による脳梗塞後遺症などのリハビリに積極的に取り組み、要介護から介護保険を卒業する状態まで回復するなどの改善事例もあります。転ばないようにしたい、トイレは自分で行きたい、もっと歩けるようになりたいなど、自分で少しでも良くなりたい気持ちになれるようサポートしています。		
2 《表彰》	リカバリータイムズモア	株式会社リカバリータイムズ	鶴見区
	脳梗塞後遺症の方をメインにした時間帯や介護予防をメインにした時間帯など、理学療法士が作成する多彩なプログラムの提供により、意欲的な参加や状態の改善につながっています。スタッフは会話などからその日その日で調子が変わるお身体の状況を丁寧に把握し、本人の気持ちを前向きに支えています。		
3 《表彰》	デイサービス プレゼンス式番館	株式会社 PRESENCE	港南区
	自宅での生活動作改善を意識し、昼食の準備や簡単な事業所の内装工事など利用者個々の得意分野を活かした活動を行い、事業所内は笑顔であふれています。また、機能訓練を兼ねて地域の子どもへのプレゼントを手作りし事業所に来てくれた子どもたちと交流することが利用者の楽しみにもなっています。		
4 《表彰》	リハビリデイサービス ブラチナ倶楽部	株式会社三文サービス	港南区
	リハビリの効果を最大限に発揮するため、継続して来ていただけるようカフェをイメージした居心地の良い空間づくりや、木製のぬくもりある器具を取り入れ、利用者のペースに合わせたプログラムを実践しています。機能向上の過程を棒グラフで「見える化」し、効果を実感し意欲的に取り組めるよう工夫しています。		
5 《表彰》	機能回復訓練強化型マッスルデイサービス金沢文庫	株式会社オルタナ	金沢区
	利用者の日常生活動作を意識したプログラムを理学療法士が作成し、個々に合った機能訓練を実践しています。会話を大切にしており、脳梗塞後遺症で消極的だった利用者から日常会話の中で目標を引き出し、念願の沖縄への夫婦旅行を実現するなど、目標達成に向けた個別プログラムを提供しています。		
6 《表彰》	Reha Style アン フルール	アンナペレンナ株式会社	緑区
	作業療法士・理学療法士が作成したプログラムにより、生活全般の質の向上に取り組んでいます。強制ではなく本人の意思で訓練が行えるよう、本人の意向を確認しながら、機能訓練を実施しています。本人の能力を引き出すための動きを支援することで、介護の中におけるリハを実践しています。		
7 《表彰》 ☆	デイサービス絆 home 横浜青葉	株式会社ネクストバリュー	青葉区
	継続的な関わりにより利用者の生きがいやこれまでの生活背景を大切にしたプログラムを設定し、事業所内でも役割をもって活動していただいています。認知症や障害などにより家に引きこもりがちの方でも役割・やりがいを見つけることで、表情も生き生きとして最高の笑顔に出会えます。		
8 《表彰》 ☆	生活維持向上倶楽部「扉」	株式会社 NGU	泉区
	利用者の自主性を最大限に尊重しつつ、職員の介護技術のスキルアップにより能力を引き出す機能訓練を実践することで、改善へとつなげています。サービス提供日以外でも、ターミナルの利用者と妻の箱根旅行に同行しサポートを行うなど、利用者へ寄り添った介護を実践しています。		

9	リハビリデイセンター悠 杉田	株式会社マエカワケアサービス	磯子区
	「自分でできることは自分で」を大切に、マシントレーニングやストレッチなどの機能訓練を行っています。グループ運動では数人の方に指導者役を担っていただくなど利用者の自主性を大切にしています。		
10	リハビリデイセンター悠 金沢文庫	株式会社マエカワケアサービス	金沢区
	マシントレーニングやストレッチなどを活用し、ご本人の抱えている不安や課題、目標をお聞きしていくつもあるプログラムを組み合わせたリハビリ特化型のデイサービスを実践しています。		
11	デイサービス れんじゅ	株式会社 seed	緑区
	まずは家での引きこもり状態を解消してデイに来ていただくことから始め、関係機関との連携及び利用者や家族の希望に配慮したプログラムを実践しています。		
12	レッツ倶楽部 横浜青葉	株式会社もっと健康	青葉区
	マシントレーニング、各種体操、ストレッチを組み合わせた機能訓練を行っています。些細なことも見逃さず、できるようになった項目を利用者に伝達することで気持ちが前向きになるよう努めています。		
13	マナーハウス南横浜デイサービスセンター	株式会社シニアパワー研究所	戸塚区
	利用者の希望を大切にしながらプログラム内容を検討し、機能訓練を行っています。ゲームなどは利用者と一緒に手作りし、意欲的に取り組めるよう配慮しています。		

《 認証事業所ステッカー 》



※表彰事業所は金色のステッカーです。



※認証のみの事業所は銀色のステッカーです。

横浜発 『みんなにやさしい介護のフロンティアを目指す』 プロジェクト

横浜市は、利用者にも事業所にも介護従事者にも、『みんなにやさしい介護』で、明るい未来をつくりたいと考えています。

市内の全ての地域密着型通所介護事業所が一丸となって、このプロジェクトを推進することで、横浜から介護の新ステージを発信することができると思っています。

ぜひ、このプロジェクトに参加してください！
そして一緒に明るい未来をつくっていきましょう！！

プロジェクトで目指すものは？

ズバリ『みんなにやさしい介護』です。

「みんなにやさしい介護」とは・・・

利用者に「やさしい」

できる限り、自分らしい（自分が望む）、生活を営むことができます。

家族等の介護者に「やさしい」

要介護者の状態を維持・改善することで介護の負担を軽減します。

介護従事者（スタッフ）に「やさしい」

ケアにより状態の改善を実感でき、働き甲斐、充実感が得られます。

事業所に「やさしい」

利用者・家族・他の事業所から信頼されることで利用者希望が増えます。また、介護従事者がやりがいを感じる事業所となることで、介護従事者の定着や新たな人材確保（就職希望）につながります。

このように『みんなにやさしい介護』の好循環を作り出せたら、素晴らしいと思いませんか？

『みんなにやさしい介護』にするためには、どうすればよいのか？

様々なタイプの地域密着型通所介護事業所がありますが、各事業所において、自立支援に、しっかりと取り組むことが重要であると考えています。

では、自立支援に取り組むとは具体的にどうすればよいのか？

横浜市では、次の2つの視点から“ケア”を実践している事業所（または目指している事業所）を応援していきたいと思えます。

● 「能力を引き出すケア」

当事者の「自立」を目指し、必要なものを用意し環境を整え、現有能力・潜在能力を適切に引き出す関わりをすることで、生活の営みを支援するケア。

● 「自らの意思で選択することを支援し、個人のニーズにあったケア」

当事者の「自立」を目指し、自分の意思で選択し行動や生活ができるよう、画一的なプログラムを行うのではなく、個人のニーズ・状態にあったプログラムを提供するケア。

ここで、「介護保険法」の“目的”を再確認してみましょう！

介護保険法

（目的）

第一条 この法律は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ**自立した日常生活を営むことができるよう**、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、国民の共同連帯の理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もって国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする。

では、具体的に何をするのか？

①エントリーシートの提出

地域密着型通所介護事業所のみなさまには、このプロジェクトに参加する意思表示として、まず「エントリーシート」を作成・提出していただきます。

このエントリーシートを作成することで、これまでの貴事業所での自立支援の取組を振り返っていただくことができます。このプロジェクトの活動は、「果たして、自立支援が実践できていたのか？」を、振り返り・見直すことから始まります。

②プロジェクト推進事業所として認証

エントリーシートの内容から、自立支援に効果的なプログラムを実施しており、本プロジェクトに参加して、さらなる自立支援の推進に取り組む意欲がある事業所を選び、プロジェクトの推進事業所として認証します。

★認証事業所には、認証ステッカー（シルバー）を配布します。

★認証事業所は、市ホームページ等で、利用者やケアマネジャーへ周知していきます。

③さらに優れた取組を行っている事業所を表彰

認証事業所の中から、さらに優れた自立支援の取組を行っている事業所を表彰します。エントリーシートに記載いただいた具体的な取組内容から、“地道だけれども着実に実績を積んでいる取組”や、“これまでの介護の常識が変わるようなユニークな取組”など、“多彩な取組”を表彰していきたいと考えています。

★表彰事業所には事例発表をしていただき、市内の他事業所にも、その取組を広めていきたいと考えています。

★表彰事業所には、認証ステッカー（ゴールド）を配布します。

★表彰事業所についても、市ホームページ等で、利用者やケアマネジャーへ周知していきます。

『みんなにやさしい介護のプロ』の3つの条件

●「知識」があること

介護の世界は日々進化しています。また、一人ひとり身体状況や病態が異なるため、適切な介護を行うためには「知識」が必要であり、学び続けることが必要です。

●「技術」があること

効果的な自立支援・適切な介護を実践するためには根拠ある介護技術が必要で、より高い介護技術を身に着けるため学び続けることが大切です。

●「思い」があること

利用者一人ひとりとしっかり向き合い、必要な支援を真剣に考え、実施する姿勢が必要です。よりよい支援を継続していく、また、新しい情報・知識・技術を学び続けるためには、職業倫理を理解しそこに向かうための原動力と「この仕事を始めた時の思い」の振り返りが必要です。

横浜市から事業所の皆さまへ伝えたいこと

『みんなにやさしい介護』を実現するため、市内の全事業所において「能力を引き出すケア」・「自らの意思で選択することを支援し、個人のニーズにあったケア」を実践していただきたいと考えています。

事業所の皆さまには、既に自立支援に取り組まれていると思います。しかし、その取組が、本当の意味での自立支援につながっているか、これまでの介護の常識にとられずに、改めて振り返ってみてください。今一度、サービス提供のあり方やプログラムの内容、利用者への関わり、介護の「知識」と「技術」、といったことに留意して見直してみてください。

また、自立支援に取り組むためには、スタッフ全員がしっかりと考え実行できるようになること、そして、事業所としてスタッフを支える環境（理念・教育等）を整えることが求められます。

自立支援の手法はひとつではありません。市内の様々なタイプの地域密着型通所介護事業所が、様々な方法で自立支援に取り組まれています。利用者一人ひとりの「自立支援」に取り組むことは容易なことではありませんが、このプロジェクトを通じて、効果的な自立支援の取組を共有することで、横浜市の地域密着型通所介護事業所の皆様と一緒に「みんなにやさしい介護」の好循環を作っていきたいと思っております。



平成30年度 横浜市

「みんなにやさしい介護のプロを目指す」 プロジェクト 表彰事業所 事例集

平成31年2月26日
神奈川県立青少年センター

目次

- リカバリータイムズ(2ページ) ☆事例発表
- リカバリータイムズモア(9ページ)
- デイサービス プレゼンス弐番館(10ページ)
- リハビリデイサービス プラチナ倶楽部(11ページ)
- 機能回復訓練強化型マッスルデイサービス金沢文庫(12ページ)
- Reha Style アン フルール(13ページ)
- デイサービス絆home横浜青葉(14ページ) ☆事例発表
- 生活維持向上倶楽部「扉」(20ページ) ☆事例発表

リカバリータイムズ



基本情報	
法人名	(株)リカバリータイムズ
事業所所在地	鶴見区駒岡5-15-32 ラピスヒルズ102号 (綱島駅・バス[日吉駅東口行]→伊勢山神社下徒歩1分)
開所日	H25.8.1
定員	15名
サービス提供日・時間	月～金(12/30～1/3及び4・9月の第1営業日(平日)を除く) ①9:50～12:55 ②14:10～17:15
事業所の見学	ご見学は事前にご予約を頂けると幸いです。 他事業所からの見学も歓迎します。 ご相談担当：指田・牧田 045-642-4820
特徴	理学療法士等の専門職による脳梗塞後遺症などのリハビリに積極的に取り組み、要介護から介護保険を卒業する状態まで回復するなど、多くの改善事例があります。転ばないようにしたい、トイレは自分で行きたい、もっと歩けるようになりたいなど、自分で少しでも良くなりたい気持ちになれるようサポートしています。



横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

病院で感じた生活期の必要性(180日期限付き)



急性期

回復期

生活期

予防

地域

再発予防

状態が悪くならない状況を創る。
悪くなったとしてもすぐに復帰できる環境を整える。

横浜市の事業者同士の地域の中で
どうやって支えていくか？

ドミノ倒しにならないように！



⇒社会とのつながりがきれないようにする

街の中の「リハビリ室」としての 業務内容の6つのポイント



リカバリータイムズ

<コンセプト>

定期的に直接さわって
アプローチする施設をつくらう！

<対象者>

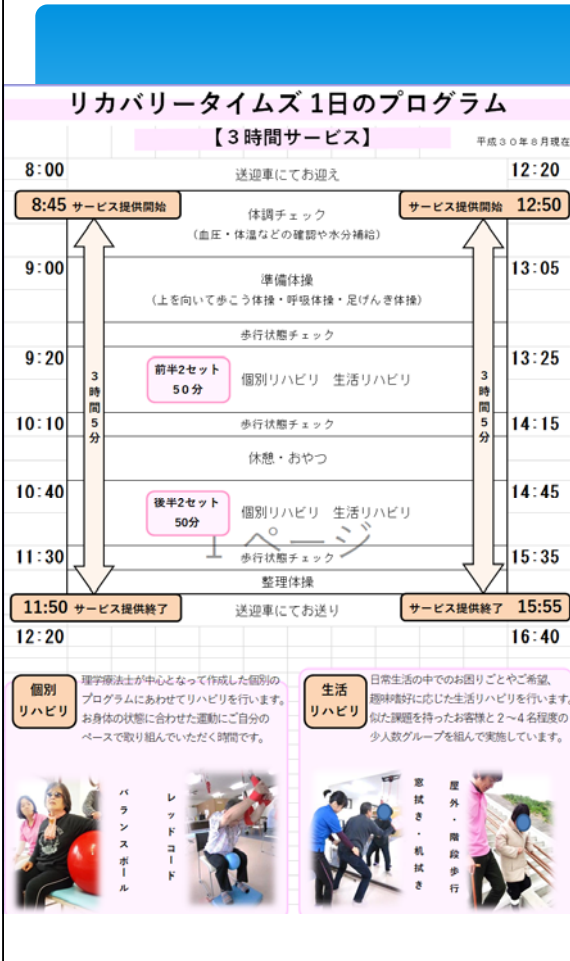
自分でよくなりたいたいという
意志がある人

Good & New

隣同士で事業所のいいところ
新しい取り組みをしている事を
話し合ってみてください。

ポイント①:マシンには頼らず体に道具をあわせる
リカバリータイムズでしかできない設定も残す





ポイント②： チームで動けるための 一定のルール & 理学療法士が提案する 適切なメニュー変更

<一例として>

	Aさん	Bさん
14:45	S P 転がし	3自転車9
15:05	棒体操	四つ這い 20cm台
15:25	RC座位 W	Rランナー1.5
15:45	休憩	休憩
16:05	バランス足踏み	RC座位 H
16:25	整理体操	整理体操

ポイント③ 適切な人員配置で求められてる事に取り組む



定員15人に対してスタッフ常勤5人
 理学療法士×2 このメンバーとは別に
 社会福祉士 送迎ドライバー
 介護福祉士×2 看護師配置あり

処遇改善加算Ⅰ 口腔改善加算
 個別機能訓練加算Ⅰ・Ⅱ 取得中

ポイント④ 自立支援介護の4重点課題



+

減薬
多剤投与・副作用の防止



ポイント⑤ 社会参加を促す。通う意味づけをする。



コミュニティーとして。生活の一部として。
家族がいたら行かうであろうサービスの提供

リハビリタイムズでの復職支援



事例 職場復帰を達成したケース

要介護1→要支援2→非更新

性別	女性
年齢	現71歳
経緯	右膝関節症、右足背部亀裂骨折 痛みによる歩行困難
HOPE	仕事への復帰
NEEDS	①歩行自立 ②痛み緩和に向けた取り組み ・痛みの出ない歩き方 ・セルフケア
実施内容	①コンディショニング ②歩容改善に向けたトレーニング ③自主トレ・セルフケア指導 ④実践運動



獲得動作	段階的に以下が自立 ①日常生活の家事動作 ②屋外歩行 ③就業に必要な自転車
経過	<u>3ヶ月目</u> 痛みの軽減、仕事へ一部復帰 <u>6ヶ月目</u> 利用回数を週1回に減回 <u>1年2ヶ月目</u> 仕事へ完全復帰、 介護認定更新を申請せず、卒業 卒業後 週1回のボランティアの申し出あり 来所に合わせて フォローを継続



横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

ポイント⑥仲間が働きやすい。スタッフ満足度



利用者満足⇒スタッフ満足⇒チームで利用者満足へ
詳しく知りたい方は、3月13日開催のかなふくミニセミナーで話します

自分が通いたくなる施設づくり
みんなで横浜市を介護のプロの街にしたい



ご清聴ありがとうございました

リカバリータイムズモア



基本情報

法人名	(株)リカバリータイムズ
事業所所在地	鶴見区駒岡4-26-3 (綱島駅・バス[日吉駅東口行]→駒岡十字路徒歩1分)
開所日	H27.3.1
定員	18名
サービス提供日・時間	月～金(12/30～1/3及び4・9月の第1営業日(平日)を除く) ①8:45～11:50 ②12:50～15:55 ③9:00～10:30 ④10:50～15:55
事業所の見学	利用者の見学は事前にご予約を頂けると幸いです。 お問い合わせ担当:鈴木 045-633-4931
特徴	脳梗塞後遺症の方をメインにした時間帯や介護予防をメインにした時間帯など、理学療法士が作成する多彩なプログラムの提供により、意欲的な参加や状態の改善につながっています。スタッフは会話などからその日その日で調子が変わるお身体の状態を丁寧に把握し、本人の気持ちを前向きに支えています。



横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

リカバリータイムズモア



事例 再び旅行に行けるようになったケース

要支援2→要支援1

性別	女性
年齢	84歳
経緯	左大腿骨頸部骨折(人工関節手術) 左足が動きづらく、転倒リスクが高い
HOPE	家族との外出を楽しむ
NEEDS	①屋外での歩行自立 ②歩行持久力の向上 ③左大腿部の痛み軽減 ④転倒しない身体作り
実施内容	①レッドコードを用いた身体運動 ②歩行練習 ③自転車エルゴメーター ④屋外歩行



経過

来所当初

- ・歩行は四点杖、T字杖の二本を使用
- ・歩行に自信がなく、転倒の不安を抱えていた

3ヵ月後

- ・杖なしでの立位保持可能
- ・徐々に動くことへの恐怖心が軽減
- ・左大腿部の痛み軽減(NRS7→5)

6ヵ月後

- ・四点杖での歩行自立
- ・左大腿部の痛み消失(NRS5→0)
- ・TUGが開始当初より約7秒短縮
- ・立ち上がりリテスト30cm→10cm可能

9ヵ月後

- ・生まれた故郷である北海道への旅行を家族と無事に行ってきた



横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

デイサービス プレゼンス弐番館



基本情報

法人名	株式会社PRESENCE
事業所所在地	港南区丸山台3-30-3 (上永谷駅・徒歩1分)
開所日	H28.10.1
定員	10名
サービス提供日・時間	月～土(12/31～1/3を除く) 9:20～16:30
事業所の見学	利用者の見学は随時受付。他事業所からの見学も歓迎します。事前にお問い合わせください。(担当:三戸 045-353-7935)
特徴	自宅での生活動作改善を意識し、屋食の準備や簡単な事業所の内装工事など利用者個々の得意分野を活かした活動を行い、事業所内は笑顔であふれています。また、機能訓練を兼ねて地域の子どもへのプレゼントを手作りし事業所に来てくれた子どもたちと交流することが利用者の楽しみにもなっています。



横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

デイサービス プレゼンス弐番館



【独自の取組みによる事例】

- **利用者:** 要介護1 女性 79歳
- **利用期間:** 2016年10月～現在まで
- **デイサービス利用のきっかけ**
日中一人でいるとアルコールに手を出し自制できない時期がありました。家族が管理している状態。一人で過ごす時間を少なくするため開始となる。
- **目標、具体的なアプローチ**
デイサービスでは単調に一日を過ごすのではなく、サポートを受けながらメリハリがあり楽しく過ごす。生活上の動作(家事動作や地域との交流)を中心に活動し他の利用者のサポートを行って頂く。



※写真掲載はご家族の承諾を頂いております。

- **結果:** 事業所内でのスタッフとの関りや利用者間の交流に留まらず、地域の子供たちに対しての作品作りや事業所前の道路掃除などを通じた地域の方々との交流、さらに、職員の子供との関りを持っています。これらを通じて、ご利用者自身が目標や目的意識を持って様々な活動に自発的に取り組まれるようになり、活動の幅も広がっています。ご家族から、以前より表情が明るくなり心配していた行動もほぼ見られなくなったとお手紙を頂きました。

《ご家族様からのお手紙》



プレゼンスのスタッフの皆様
新年、おめでとうございます。
昨年、母が大変お世話になりました。ありがとうございます。
プレゼンスに通うようになって、早 数年が経ちますが
以前より表情が明るくなり、心配していた行動もほぼ見られなくなりました。プレゼンスで、日々機嫌が
よくなってきているのが嬉しいです。感謝いたします。
/今年も母が笑顔で過ごせますように
よろしくお願いいたします。
2019年1月7日

横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

リハビリデイサービス プラチナ倶楽部



基本情報

法人名	(株)三文サービス
事業所所在地	港南区港南台6-2-1 (洋光台駅・バス[港南台行き]港南台第一中学校前徒歩2分)
開所日	H25.2.1
定員	18名
サービス提供日・時間	月～土(12/30～1/3を除く) ①9:00～12:10 ②13:00～16:10
事業所の見学	利用者の見学は随時受付。他事業所からの見学も歓迎します。事前にお問い合わせください。(担当:中神・本間 045-830-5022)
特徴	リハビリの効果を最大限に発揮するため、継続して来ていただけるよう1対1の対話を重視し、カフェをイメージした居心地の良い空間づくりや、木製のぬくもりある器具を取り入れ、利用者のペースに合わせた意欲・機能向上プログラムを実践しています。機能向上の過程を「見える化」し、効果を実感し、意欲的に取り組めるよう工夫しています。



横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

リハビリデイサービス プラチナ倶楽部



【事例と取組みについて】

- 基本情報: 要介護3 年齢: 84歳 性別: 男性
- 事業所の利用を始めたきっかけ

腰椎圧迫骨折のため入院され退院後も痛みの為、ほぼ寝た切りの生活、そのため食欲も減退し衰弱に近い状態まで進行、また主介護者である奥様も人工透析を受けていたことから身体機能の向上と奥様の介護負担の軽減を図るといった目的からサービスの利用を開始される。

- どんな目標を立て、具体的にどうアプローチしたか

ご本人の思いから、身体(特に歩行)機能を向上させ、室内や出来れば近所を一人で歩けるようになり、奥様の家事を少しでも手伝えるようになりたいといった目標を設定した。
達成に向けたアプローチとして最初のステップでは、意欲向上にフォーカスし、職員による傾聴、他利用者様との接点確保、テーブルや着席位置などを工夫し、「居心地の良さ」＝「通いやすい環境」作りを実施し、次のステップとして具体的な機能訓練を座ったままで行える全身運動から始め徐々に歩行やマシン運動を取り入れ下肢筋力強化に向けたプログラムを中心に実施しました。

【取組み後の変化について】

平成30年3月の利用開始から同年9月の更新時において「要支援2」へ変更

- 意欲的な面においては、事業所の雰囲気にも徐々に慣れていただき、訓練の合間に他利用者様と談笑されるようになった。ご利用開始から現在まで一度も休むことなくご利用頂き、ご本人、スタッフ共に効果を認識。
- 身体的な面においては、下肢筋力・持久力が向上し、室内では杖なし、室外でも杖を使用して歩行できるまで回復され、お住まいの団地敷地内を散歩されたり、最近では近所の床屋から歩いて帰宅できるようになった。

その他、現在は洗濯物の取り込みとたたむ事を行っており、奥様の負担軽減にも繋がり、自己実現に向けて努力を継続されております。



木製の訓練器具



横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

機能回復訓練強化型マッスルデイサービス金沢文庫



基本情報

法人名	(株)オルタナ
事業所所在地	金沢区泥亀2-5-1 (金沢文庫駅・徒歩10分)
開所日	H26.7.1
定員	10名
サービス提供日・時間	月・水～土(12/29～1/3を除く) ①9:15～12:20 ②13:40～16:45
事業所の見学	利用者の見学は随時受付。他事業所からの見学も歓迎します。事前にお問い合わせください。(担当:大内 045-790-1677)
特徴	利用者の日常生活動作を意識したプログラムを理学療法士が作成し、個々に合った機能訓練を実践しています。会話を大切にしており、脳梗塞後遺症で消極的だった利用者から日常会話の中で目標を引き出し、念願の沖縄への夫婦旅行を実現するなど、目標達成に向けた個別プログラムを提供しています。



横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

機能回復訓練強化型マッスルデイサービス金沢文庫



【独自の取組みによる事例】

- ・ 介護度要介護度2、年齢60歳、性別男性
- ・ 左片麻痺を呈し、日常生活は介助を要していた。ご本人の身体機能は向上するものと評価していたが、気持ちや障害の受容の面で実際場面での発揮が難しい状況だった。
- ・ そこで家族での目標や少し遠い未来としてどんなことがしたいかを、対話の中から引き出し、そのために小さな課題を少しずつクリアし自信をつけてもらうように計画を進めた。

・約2年の期間をかけ、ご本人と家族の念願であった家族旅行に出かけられた。ホテル、飛行機の利用も家族の見守りの下安全にでき、それ以降他の目標へのチャレンジにも肯定的になってきている。

短時間のサービス提供ではあるが、機能訓練だけを押し付けずご本人の中の積極的な部分に如何に火をつけるか(コナトウス)を考え、対話や課題設定を丁寧に行っている。



駐車場で下車後、バリアしかない動線ですぐに練習は始まっています



敢えて過剰な関与を避け如何に自分で出来るかを一緒に考えている

商業施設をうまく利用します

当然ですが、ドアは自分で開けましょう

横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

Reha Style アンフルール



基本情報

法人名	アンナペレンナ(株)
事業所所在地	緑区鴨居町2481 第2串田ハイツ1階 (鴨居駅・徒歩17分)
開所日	H25.5.1
定員	10名
サービス提供日・時間	月～金(12/31～1/3を除く) ①9:15～12:15 ②13:15～16:15
事業所の見学	ご利用希望の方の見学は、空き状況により受付させて顶いています。 事前にお問い合わせください。(担当:近藤 045-482-5385)
特徴	作業療法士・理学療法士が、日々の状態に合わせた訓練を実施し、生活全般の質の向上に取り組んでいます。動作分析・評価・計画・訓練・フィードバックを繰り返す中で、訓練目的を理解して頂いています。皆様が意志をもって訓練を行い、生活の中で「やってみたい」という挑戦意欲を促す地域リハを実施しています。

自信をもって
明日への一歩を



<http://annaperenna-ltd.com/>



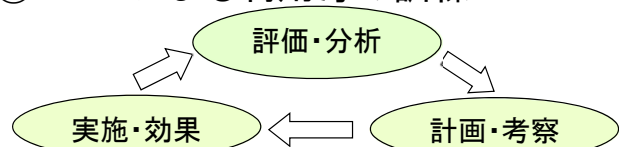
横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

Reha Style アンフルール



【独自の取組み】

①OT・PTによる利用毎の訓練



②環境設定とケアの心理



③スタッフの熱意に対し

スタッフ全員が同志となり、受け止める・肯定する・信頼する・感謝する・修正するを全員で管理

①身体・精神機能へのアプローチ

左記サイクルの訓練の継続
向上→維持→予防→自立へ

②ピアサポート

スタッフからだけでなく、ご利用者同士の賞賛とフィードバックで相乗効果

③スタッフの自己実現

公私の両立、良い人間関係の構築、仕事を楽しむ、やりたいことができることで充実した生活

みんながお互いにサポートしあうことで
活動意欲が向上し自立支援につながる

横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

デイサービス絆home横浜青葉



基本情報

法人名	(株)ネクストバリュー
事業所所在地	青葉区青葉台2-21-3 (青葉台駅・徒歩10分)
開所日	H27.9.1
定員	10名
サービス提供日・時間	月～日(12/30～1/3を除く) 10:00～17:00
事業所の見学	利用者の見学は随時受付。他事業所からの見学も歓迎します。事前にお問い合わせください。(担当:石川和秀045-989-3778/090-7828-4701)
特徴	継続的な関わりにより利用者の生きがいやこれまでの生活背景を大切に したプログラムを設定し、事業所内でも役割をもって活動していただ いています。認知症や障害などにより家に引きこもりがちな方でも役割・や りがいを見つけることで、表情も生き生きとして最高の笑顔に出会えます。



横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

デイサービス絆home横浜青葉



【事例又は独自の取組み等】

- 要介護2、79歳、女性
- 事業所の利用を始めたきっかけ
H24.11より嚥下が出来なくなり身体的に衰弱(原因不明)
「何故食べないの?」「早く食べましょう!」は禁句とCMから...
- どんな目標を立て、具体的にどうアプローチしたか
原因はあるだろう?
何故禁句?
食事を楽しんでもらおう!
自分で選んだ食べたいものはないか?



・結果、どの位の期間で日常生活にどう良い影響が出て、
利用者の自己実現につながったか。

利用初日、歩行訓練を兼ねてスーパーの総菜コーナーへ行き、「どんな
物が好きなんですか?」と聞くと「このカニクリームコロッケが食べたい!」
と即答

事業所の昼食のお膳に「カニクリームコロッケ」を添えて提供すると...

完食!!



デイサービス絆home横浜青葉



【事例又は独自の取組み等】

- 要介護2、79歳、女性

- 事業所の利用を始めたきっかけ

H24.11より嚥下が出来なくなり身体的に衰弱(原因不明)
「何故食べないの?」「早く食べましょう!」は禁句とCMから...

- どんな目標を立て、具体的にどうアプローチしたか

何故マスクを外さないのだろう?
もしかして、まばらになっている
口の中を見られたくないのでは?
CM・ご主人と相談し訪問歯科を
提案



■結果、どの位の期間で日常生活にどう良い影響が出て、利用者の自己実現につながったか。

訪問歯科の協力で義歯が入り、表情も明るく、送迎後ご主人と腕を組んで歯医者へ向かったり、週末お孫さんのコンサートに出かけたり、ご家族で中華街や温泉旅行に出かけるなどアクティブに過ごしている



<役割>

絆home利用者代表として、新人スタッフ・見学者・新規利用者に絆homeについて何でも語ってくれる大切な存在

横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

デイサービス絆home横浜青葉



【事例又は独自の取組み等】

- 要介護2、75歳、男性

- 事業所の利用を始めたきっかけ

一人暮らしの奥様が入院されたため、就労している息子さんだけでは介護ができないため
1日1~3万歩の歩行(徘徊)。警察に保護された過去もあり。これまで幾度となく出歩かないよう奥様が静止したことで暴力を振るわれたことも。

- どんな目標を立て、具体的にどうアプローチしたか

担当者会議で「現役のゴルファーですか?」
の一言で心の中に飛び込めた!

1日3万歩を目標にウォーキングを
楽しんでもらう。送迎前のウォーキング
は自由に



■結果、どの位の期間で日常生活にどう良い影響が出て、利用者の自己実現につながったか。

お迎え時にウォーキングに出ている場合は、携帯会社のGPSサービスでだいたいのルートを推測し送迎車を走らせ合流!
歩数を確認し不足分は絆homeでウォーキング
退院された奥様も安心してご主人と良質な生活へ



<役割>

自宅と絆homeでウォーキングをすることで
ご自身の目標である1日3万歩を達成すること

横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

デイサービス絆home横浜青葉



【事例又は独自の取組み等】

- 要介護1、80歳、男性

- 事業所の利用を始めたきっかけ

H29.11奥様急逝され独居、自宅内で転倒繰り返し外出機会減少。
介護サービスの受入に抵抗あり

- どんな目標を立て、具体的にどうアプローチしたか

担当者会議の際、大量の釣り竿を発見！「私に釣りを教えてもらえませか？」の一言で前進！

個別機能訓練加算Ⅱを利用して
大好きな釣りを楽しみながら、歩行
力をつけ、通所と在宅生活との
運動制を生み出す。



■結果、どの位の期間で日常生活にどう良い影響が出て、利用者の自己実現につながったか。

利用当月から釣りに出かける事ができ、サービス前日には自作のエサや仕掛けを作るようになる。しかし、行動力がアップしすぎて車を運転してしまったり、買い物に出かけて転倒してしまったり約2か月間は家族・CMとの密な連携を図った。

また、3か月後には、これまで飲み続けていたアルコールの摂取もなくなり転倒することがなくなった。



＜役割＞
釣りの先生

横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

デイサービス絆home横浜青葉



【事例又は独自の取組み等】

- 要介護3、82歳、男性

- 事業所の利用を始めたきっかけ

25名定員のデイサービスを利用しているが個別対応を希望
また、家庭菜園やウォーキングにも期待

- どんな目標を立て、具体的にどうアプローチしたか

利用スタート時は、機能訓練(外出を含む)や地域交流活動を通して役割を果たすことを目標とし、4か月後より孫娘さんの結婚式に出席する目標を追加

外出による歩行訓練や絆home農園での
指導、大好きな塗り絵など活動的な関わりを
継続している。

サービス開始後、脳梗塞・心筋梗塞で入院。



■結果、どの位の期間で日常生活にどう良い影響が出て、利用者の自己実現につながったか。

スタートから3ヶ月間で活動量が増え、事業所での他者との交流の結果自宅での会話が弾むようになったとご家族から喜びの声をいただく。絆home農園に植えるいちごの苗を持参してくれたり通所と在宅生活の運動性が生まれる。

入院後は、2人介助での歩行訓練、入浴介助スタート。
絆home農園ではジャガイモ栽培の指導担当。ご本人・ご家族・CM・事業所が一体となり、自立支援に関わっている。



＜役割＞
絆home農園の指導

横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

デイサービス絆home横浜青葉



【事例又は独自の取組み等】

- 要介護5、享年88歳、女性
- 事業所の利用を始めたきっかけ
様々な介護サービスを利用したが、どこも受け入れ拒否状態、家族もCMも困っている
- どんな目標を立て、具体的にどうアプローチしたか
介護素人が人生で初めて出会った認知症高齢者
昼夜逆転、耳が遠くコミュニケーションが図れない、近づけば叩く
ひっかく、つねる、噛む、顔が怒ってる
目標見えず・・・とにかく家族もCMも困ってるので、スキンシップしながらこの方を知ること全力を挙げる



■結果、どの位の期間で日常生活にどう良い影響が出て、利用者の自己実現につながったか。

食べることが何より大好きで食欲旺盛。しかし誤嚥性肺炎によりトロミ食となる。食欲低下、箸もフォークもスプーンも手に出来なくなりドンドン衰弱。家族も我々ももうダメかも・・・と

家族の同意を得て、大好きな饅頭と煎餅をお皿に載せ提供。スツと手が伸びガリガリ！

主治医・家族の同意を得てその後、普通食へ戻し、活力が戻る。



<役割>
自分らしく生きる！

横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018



デイサービス絆home横浜青葉



【事例又は独自の取組み等】

地域交流



横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018



デイサービス絆home横浜青葉



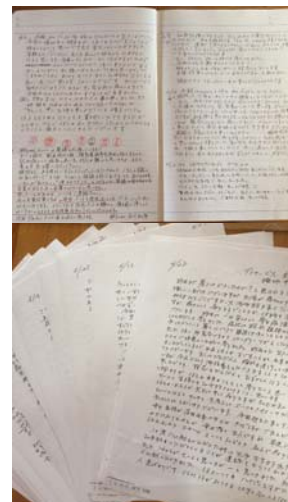
【事例又は独自の取組み等】

家族支援

<家族支援に対する基本姿勢>

「利用者と家族の生活を守る」ために個別対応による自立支援と家族支援

- その人らしい人生のゴールへ向かって可能な限りその人らしく生きられるような関わりを行いながら、介護疲れ、介護ストレスから家族の生活を守るための両輪
- 利用者在家中に困ったことで連絡があれば、出来る限り駆け付け対応し、利用者さんとご家族が落ち着かれるよう関わりをもつ。
- 自費生活支援サービスを活用し、通院介助や買い物、庭の手入れ等々の対応。ご家族の同意があればLINE交換し日々情報交換を行う。(メール・FAXの場合もあり)



デイサービス
絆home

横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

デイサービス絆home横浜青葉



絆homeが考える自立支援とは？

<その人らしく生きるための関わり>

ひとりひとりの生き様を心と心のつながりを大切に共有しながら深く関わることで、その人らしい役割が見つかり生きる活力が旺盛になり表情も生き生きして最高の笑顔に出会えます。



デイサービス
絆home

横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

デイサービス絆home横浜青葉



最高の笑顔に出会いたい



ご清聴ありがとうございました。



デイサービス
絆home

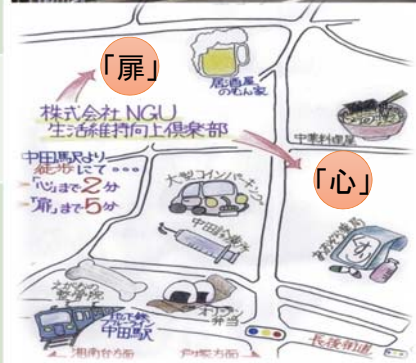
横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

生活維持向上倶楽部「扉」



基本情報

法人名	(株)NGU
事業所所在地	泉区中田東3-6-42 (中田駅・徒歩5分)
開所日	H24.2.1
定員	12名
サービス提供日・時間	月～土(12/30～1/3を除く) 9:10～16:20
事業所の見学	ご利用前の見学は随時受付。また、他事業所、介護従事者の見学も歓迎しています。事前お問い合わせください。(担当:川辺 045-800-6231)
特徴	「生活の営み」が継続できるよう、根拠ある介護技術をパートナー全員で学び、認知症ケアや現有・潜在能力を適切に引き出し発揮できる関りを行っています。また、自ら行動できる環境を整え「じりつ」の観点と日常生活で「過用・誤用」を引き起こさないサポートの実践で、卒業や介護度改善・維持の方が多くいらっしゃいます。



横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

生活維持向上倶楽部「扉」



【事例①】

- 要介護度2 99歳 女性
- 両側慢性硬膜下血腫OPE後、認知症の症状が強く表れる。
歩行不安定で転倒されてしまう事や、半独居で刺激もない為
ご自宅生活を継続できるようにと6年前に利用開始となる。
- まずは、「歩行安定」と「日常生活で家事の再開」と目標を立てる。
- 日常生活動作で、興味を持たれた活動は取り組んでいただく。
- 他のメンバーさんと相談しながら「生活動作」を行っていただく。
- 座位姿勢・立ち上がり動作と歩行状況(靴や歩き方)からその都度しっかりと伝達を繰り返す。
- 玄関から出るとバリアアリーの為、外での歩行が安定できるように活動を提供し「生活」に自信を取り戻していただく。
- 会話の中で、「またやりたい」と言われた事に対して、ご家族とも相談し実現できる場をつくる。



(結果)

直ぐに歩行安定に向かい、日常生活に必要な行為を発揮できるようになり、ご自宅で「接客」等ができるようになる。
3年前より、ご家族の休息とCMIに勧められSSを利用となる。
その後、要介護3になってしまうも98歳でさらに生活向上に向けての活動を行い要介護2へ戻られる。

(主な活動)

- 来客者へのお茶出し
- 昼食準備・食器洗い・片付け
- 洗濯物干し
- 段差や障害物等のある環境での外歩行
- デッサンから水彩画・絵手紙作り
- フランス刺繍 等



※塗り絵やドリルなどの脳トレ・レクリエーションは行っていません。

横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018

生活維持向上倶楽部「扉」



【事例②】

- 要介護度4→要介護2 72歳 男性
- 過敏性肺炎 硬膜下血腫 機能低下により大規模の通所を利用していたが、担当CMより廃用が著明で何とかご自宅生活を継続させたいと利用開始になる。
- 「娘様の結婚式で杖なしにバージンロードを一緒に歩きたい」との自己実現があったので、介助歩行ではなく杖歩行ができるように立ち上がり動作から関わる。
- ご自分で歩ける環境を整える。また、歩行耐久や不整地歩行の向上の為、屋外での機能訓練を提供。
- 転倒予防の為のバックステップ・サイドステップ強化
- 生活動作に自信を持っていただけるように日常生活動作中心にご自分で出来るように関わる事や、趣味・特技の再開。



(結果)

数十メートル杖なしで歩けるようになり、娘様の結婚式でバージンロードを歩く事が出来た。その後もご自分で出来る事が増え生活の自信に繋がり日常生活動作の向上により、要介護度が改善された。

(主な活動)

- 昼食の配膳・下膳
- 屋外での機能訓練
- 木工・竹細工や創作活動
- 畑仕事(機能訓練の一環)
- 事務仕事 等



※転倒のリスクが軽減した為にご自分で行動していただき、興味がある事や出来ると思った活動に自ら取り組まれている。

横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト2018